

# かほくワークシート

賢作さん（手前）の指揮で校歌を歌う児童



本年度開校した宮城県富谷町明石台小（児童413人）の校歌「だいすき だいすき」が完成した。作詞は詩人の谷川俊太郎さん、作曲はピアニストで俊太郎さんの長男谷川賢作さん。9月24日に同校で披露式があり、全校児童が地区住民や保護者ら約90人を前に歌った。

## 本年度開校

## 宮城・富谷明石台小の校歌完成

# 学校から♪世界見つめる

### 谷川俊太郎・賢作さん親子作

「あかいしだいから せかいみつめる」と結ぶ。披露式には賢作さんが駆け付け、合唱で指揮を執った。賢作さんは「低学年でもすぐに覚えらるる曲。歌詞は小学生の目線で書かれ、世界中の人と知り合ってほしいとの父の思いがこもっている」と説明した。

渡辺孝男校長は「心を込めて何十年と歌い継ごう」と児童に呼び掛けた。6年長谷川慶伍君（12）は「校歌に負けないくらい明るく元気な学校をつくっていきます」と感謝の言葉を述べた。

明石台小は東向陽台小から分離、新設された。本年度の卒業制作として歌詞の木工レリーフを作り、体育館に飾るといふ。

（2015年10月5日河北新報朝刊）

富谷町明石台小学校歌「だいすき だいすき」

作詞 谷川俊太郎 作曲 谷川賢作

だれとでも いつでも すすんで きもちよく  
あかるくこえを かけあつて  
ならつて まなんで おぼえて あしたへ  
すこやかからだ しなやかこころ  
だいすき いつでも すてきな きのかおり  
プールのみずが きらめいて  
はしつて ころんで わらつて あしたへ  
あかいしだいから せかいみつめる

①校歌の歌詞にある「せかいみつめる」には、作詞者のどんな思いがこめられていますか。

②校歌の歌詞を音読してみましょう。また、谷川俊太郎さんの作品を、図書館などでさがして読んでみましょう。

年 組 名前

（小学校中学年以上／国語）